

●キーワード：ごみの発生抑制，環境教育，子育て

（事業名）～地球にやさしいエコな子育て～ 0歳からのおまるでもっとゴミを減らそう！

（団体名）おむつなし育児研究所京都サロン

平成27年度 助成金額460,000円 主な実施場所：京都市内全域

事業目的・概要——0歳からおまるでさせることによりゴミの発生抑制を！

【目的】日本に古くから伝わる赤ちゃんのお世話について伝え、現代でも0歳から簡単に実践できるおまるの使い方を紹介することによって、ゴミの発生抑制をめざす。大量消費の紙おむつのゴミ問題に意識を向け、身の周りの消費行動を見直す。循環型社会の構築や環境に優しい子育てが子どもたちの育ちゆく地球を守ることを伝える。赤ちゃんに気持ちよく排泄してもらうことにより、育児の喜びを倍増させる。健やかで機嫌の良い赤ちゃんを増やす。

【概要】「紙おむつ＝便利，赤ちゃんにも快適」と考えられている。しかし実際は、弊害や問題もあることを批判的・多角的に提示しながら、親が主体的に考え行動できるように導く。諸外国の現状や日本古来の生活の知恵を伝え、地球の未来と目の前の赤ちゃんのために、簡単に実践できる方法を提案する。

取組内容——昔ながらのエコな子育てを提案！「0歳からのおまる」を広く伝える

環境省 ESD 環境教育プログラムをもとに、ブース出展，京都市内各地域におけるサロンの開催，動画の制作を行う。

●【ゴミ発生抑制にかかわる活動】ブース出展

地球にやさしく，親子のきずなの深まる子育てを広く伝え，具体的な実践法を紹介する。参加者が気軽に学べるように，展示やミニ講座を開催する。養成を受けたアドバイザーを配置する。

●【使い捨てに対する意識改革と実践法を伝える】

市内5箇所計8回サロンを開催

紙おむつのごみ減量を市内各地域でサポートする。妊婦さんから2歳ころまでの赤ちゃんを対象とする。赤ちゃん連れでは電車やバスなどによる遠出が困難なことから，近くで気軽にサロンに参加してほしいと願って，市内東西南北5箇所合計8回サロンを開催する。子育てをきっかけに，昔ながらの和の暮らしや循環型社会へ意識が向くように提案する。

●【おむつに頼りすぎない子育てを広く伝える】

動画制作&YouTubeで配信

おむつに頼りすぎない子育て（現在の「おむつなし育児」）とはどのようなものなのか，手軽に知ってもらうために，動画を制作しインターネット上で公開する。母親だけではなく，父親や祖父母，社会全体に理解してもらうことを目的とする。何度でも使える布おむつの使い方もあわせて紹介することにより，昔ながらのエコな子育てを伝える。

成果—赤ちゃんの紙おむつのゴミ処理費用年間約5億円削減へさらに接近！

●ブース出展では子育て世代をターゲットにPR



ターゲットを子育て世代に絞った2つのイベントと、「布フェス in 京都」にブース出展し、「0歳からのおまる」を広くPRすることが出来た。一つ目は、一般的な母親たちの憩いの場となっている子育てイベント「ママタイムカフェ」（ディリパ京都）に出展した。二つ目は、子育て世代をメインターゲットに開催された「sunsun フェス 2015」（梅小路公園）で約28000人が参加、そして「布フェス in 京都」（京エコロジーセンター）では輪おむつ作りのワークショップを開催した。孫をもつ女性や母親らが参加して、丁寧におむつを縫っていた。各イベントでは、多くの人が「0歳からのおまる」の看板に引き寄せられるようにパネルを見たり、立ち寄って説明に耳を傾けていた。

●実践者増加によるゴミ発生抑制 ひとリーヶ月 100枚~300枚の紙おむつゴミを削減

個人差が大きいものの、実践を試みた参加者へのアンケートによれば、0歳からおまるや布おむつを使うことにより、紙おむつの使用量が大幅に減ったことが確認できた。一ヶ月でひとり100枚は、一日約3枚、200枚は6-7枚を削減したことになる。

ノウハウを学べるサロンを伏見区の助産院、左京区、西京区、山科区、北区の公共施設で開催したことにより、もっと身近に感じてもらい、気軽に実践する人が増えた。サロンでは、オリジナルテキストによる独自の講座で養成を受けたアドバイザーが講師をつとめ、毎回たいへん熱意ある、あたたかい時間となった。紙おむつゴミの発生抑制と環境への意識改革に確実な手応えを感じた。やはり近所に相談できる機会があることは重要であると感じた。また、年間予定を記載した活動紹介パンフレットを作成することが出来たため、参加しやすくなった。**【参加者の声】**「意識しながら、ごみを減らせたことに喜びを感じられるし、想像以上に楽しく取り組みました。」「おしっこやうんちを一緒に喜べたら楽しいやろうなあと思えたので、ゆるく試してみます」などの感想があった。



●動画の配信によって、より広い層への普及が可能に

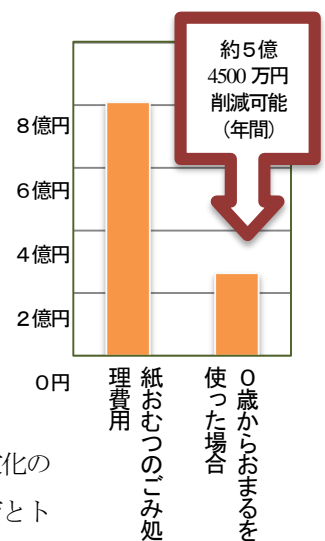
0歳からおまるでさせる動画制作にあたり、実践中の母親に出演を依頼して、ノウハウ編（3分）とインタビュー編（4分）の二つを制作した。これにより、具体的なイメージをつかみやすくなったと好評を得ることができた。

（団体名）おむつなし育児研究所京都サロン 【代表者】代表 西山由紀

【主な活動地域】京都市全域 【ウェブサイト】<http://omutsunashi-kyoto.com/>

【設立の目的】日本で伝統的に行われてきたように、0歳からおまる等で排泄することの重要性と具体的実践法について紹介する。昔から伝承されるおむつの世話を伝えることにより、すこやかで情緒の安定した赤ちゃんを増やし、紙おむつのゴミを減量し、環境への意識改革をおこなう。おむつをきっかけに赤ちゃんとの親の絆を深め、地域における母親同士の交流の場をつくることを目的としている。

【主な活動内容】**環境**環境教育プログラム開発、赤ちゃんのおむつを契機としたごみの発生抑制や循環型社会の提案など啓蒙的活動 **子育て**赤ちゃんのおむつの世話に関する子育てサロン・講座・講演会の実施、地域のつながり作り **文化**アートと子育て、くらし文化の伝承、きものリメイクおむつカバーやおむつなしグッズの開発・ワークショップ **教育**食育とトイレ講座の開催、いのちの誕生に関する体験型ワークショップ



(*京都市 H24の場合)